



第15回上田八木・金融政策サーベイ(2017年10月)の結果について

～10月のMPM予想は回答者の99%が政策変更なしの見方。金利予想は概ね不変を予想。出口開始時期は今から1年未満との見方が4%へ減少(前回7%)。

2017年10月27日(金)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 回答者(180先)の99%が10月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 金利予想はどの年限も概ね不変を予想しているが、10年国債金利予想DIは+10となり8%ポイント減少。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が4%と前回(7%)より減少、「3年以上」の見方が33%と前回(29%)より増加。

【調査の概要】

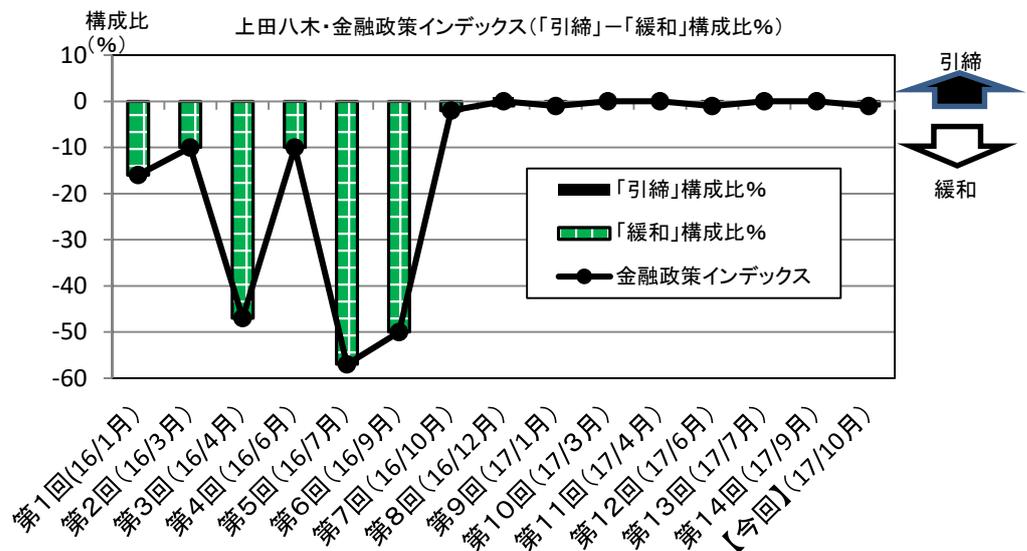
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(197先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年10月24日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	91.3% (回答者数180先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方(前回100%が不変の見方)。

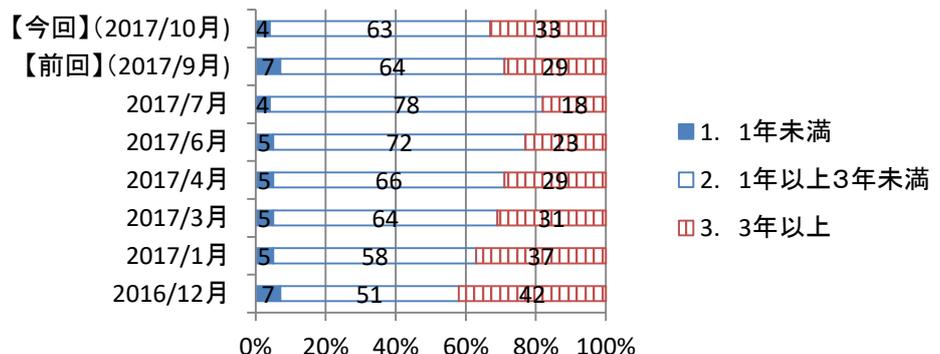
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲1だった(前回0%→今回▲1%)。



(ご参考)

【今回8回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

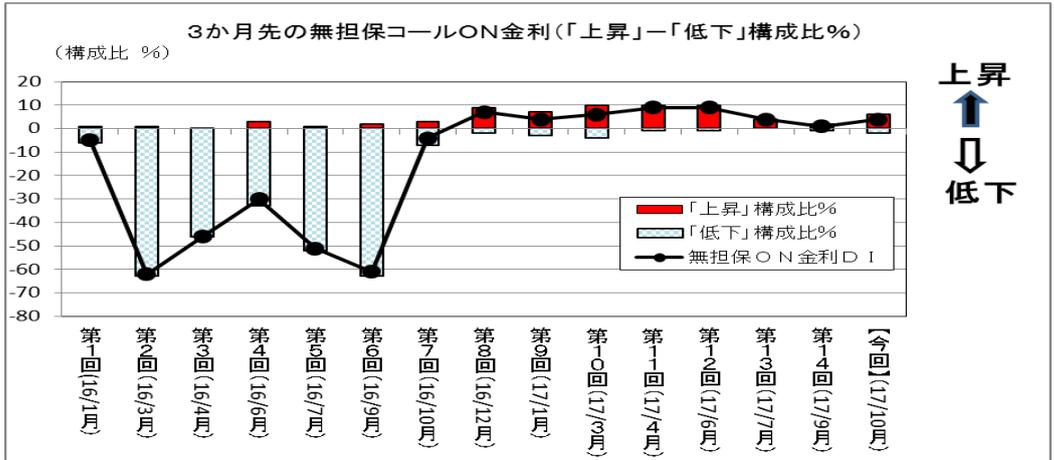
3年以上と回答する先が33%に上昇(前回29%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の92%が「不変」と予想。2%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は6%だった。

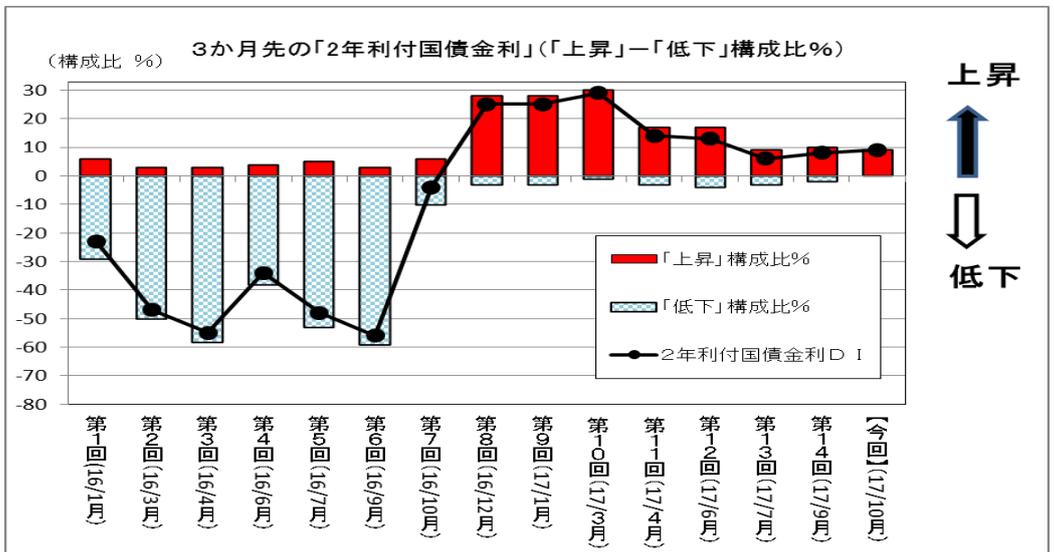
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1%→今回2%)。「不変」とみる先が▲5%ポイント(前回97%→今回92%)。「上昇」とみる先は+4%ポイント(前回2%→今回6%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の91%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者0%。「上昇」を予想した先は9%であった。

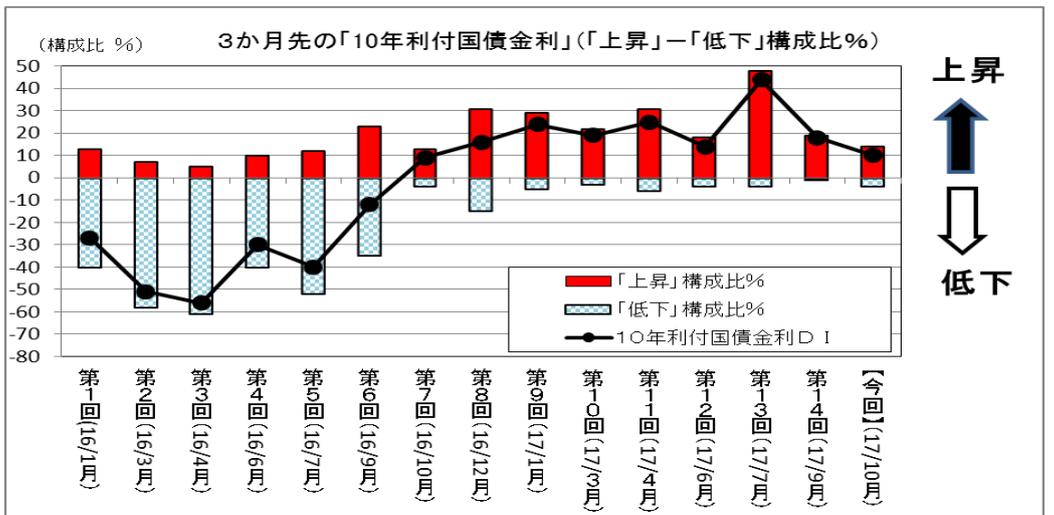
前回との比較では、「低下」とみる先は▲2%ポイント(前回2%→今回0%)。「不変」とみる先は+3%ポイント(前回88%→今回91%)。「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回10%→今回9%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の82%が「不変」を予想。4%が「低下」、「上昇」を予想した先は14%。

前回との比較では、「低下」とみる先は+3%ポイント(前回1%→今回4%)。「不変」とみる先は+2%ポイント(前回80%→今回82%)。「上昇」とみる先は▲5%ポイント(前回19%→今回14%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)



第15回上田八木・金融政策サーベイ(2017年10月)

発表日：2017年10月27日(金) 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年10月24～26日
調査先	197先
回答率	91.3%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	99	100	▲1
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	92	97	▲5
上昇	6	2	+4
短期金利予想DI	+4	+1	+3

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	0	2	▲2
不変	91	88	+3
上昇	9	10	▲1
2年国債金利予想DI	+9	+8	+1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	4	1	+3
不変	82	80	+2
上昇	14	19	▲5
10年国債金利予想DI	+10	+18	▲8

質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
1. 1年未満	4%	7%	▲3%
2. 1年以上3年未満	63%	64%	▲1%
3. 3年以上	33%	29%	+4%